お願いとご注意

― 重要なお知らせ ―

HMWH ケータイ

2016年2月第1版発行　ソフトバンク株式会社
製造元:京セラ株式会社
KZ002142XX-　0216SZ

はじめに

このたびは、HMWH® ケータイをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

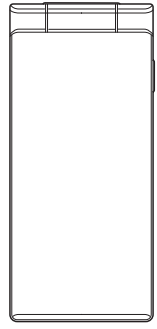
- HMWH® ケータイをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- HMWH® ケータイは、4G LTE／3G／GSM方式に対応しております。

※SoftBank 4Gは、第3.5世代移動通信システム以上の技術に対しても4Gの呼称を認めるという国際電気通信連合(ITU)の声明に基づきサービス名称として使用しています。

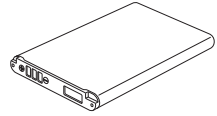
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

■ HMWH® ケータイ本体



■ 電池パック(KYBAH1)



■ お願いとご注意(本書)

■ クイックスタート

■ 保証書(本体)

- 付属品／その他オプション品につきましては、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。
- 本書では、HMWH® ケータイ本体を「本機」と記載いたします。
- 本書では、microSD™メモリカード／microSDHC™メモリカードを、以降「SDカード」と記載いたします。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

⚠ こんな使いかたはやめましょう

本機をご利用になるときに、誤った使いかたをするとけがや故障の原因となります。

分解・改造
分解や改造をしないでください。

無理な取り付け
電池パックやACアダプタ(オプション品)、卓上ホルダー(オプション品)をうまく取り付けられないときは、取り付ける向きを確かめてください。

外部接続端子の接触禁止
外部接続端子に金属などを触れさせないようにしてください。

指定品以外の使用
本機に使用する機器は、当社の指定品以外のものは使用しないでください。

加熱の禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に本機や電池パックを入れて加熱しないでください。

運転中
自動車運転中のご使用は危険なため、法律で禁止されています。車を安全なところに停車させてからご使用ください。

⚠ こんな場所では電源を切りましょう

航空機内
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従いましょう。

病院内
病院など医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従いましょう。

混雑した場所など
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいると、動作に悪影響を与えることがあります。

映画館・劇場・美術館など
公共の場所
静かにすべき公共の場所で本機を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

マナーを守るための便利な機能

■ **マナーモード**
電話がかかってきたときなどに、着信音を鳴らさずに振動でお知らせします。

■ **簡易留守録**
電話に出られないとき、相手の伝言メッセージを本機に録音します。

■ **機内モード**
電源を入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
●次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

禁止・強制の絵表示の説明

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、ACアダプタ(オプション品)、卓上ホルダー(オプション品)の取り扱いについて(共通)

⚠危険

禁止 **高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については、「防水／防塵／耐衝撃性能について」(P.33)をご参照ください。

分解禁止 **分解、改造をしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止 **水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については、「防水／防塵／耐衝撃性能について」(P.33)をご参照ください。

水濡れ禁止 **充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については、「防水／防塵／耐衝撃性能について」(P.33)をご参照ください。

水濡れ禁止 **水などで濡れた状態では、充電しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については、「防水／防塵／耐衝撃性能について」(P.33)をご参照ください。

指示 **使用するオプション品は、ソフトバンクが指定したもの以外を使用しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

禁止 **落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**
火災、やけどなどの原因となります。

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本機の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。**
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

指示 **使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。**
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本機の電源を切る。
- 電池パックを本機から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **本機が濡れている状態で充電しないでください。**
感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。
水濡れのときの充電による故障は、保証の対象外となり修理ができません。

水濡れ禁止 **本機は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が電池カバー／外部接続端子キャップなどから本体内部に入った場合には、使用をおやめください。**
そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。
防水性能については、「防水／防塵／耐衝撃性能について」(P.33)をご参照ください。

⚠注意

禁止 **破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。**
落下して、けがなどの原因となります。

禁止 **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については、「防水／防塵／耐衝撃性能について」(P.33)をご参照ください。

指示 **子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。**
けがなどの原因となります。

指示 **乳幼児の手の届く場所に置かないでください。**
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

指示 **本機を長時間連続使用される場合や充電中はご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。**
通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本機や電池パック・ACアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

禁止 **外部から電源が供給されている状態の本機・電池パック・ACアダプタ・卓上ホルダーに長時間触れないでください。**
低温やけどの原因となります。

禁止 **腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。**
故障による内部データの消失の原因となります。

水濡れ禁止 **湿気の多い場所で使用しないでください。**
身に着けている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水漏れや湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理ができません。

本機の取り扱いについて

⚠危険

禁止 **火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。**
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

指示 **通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、テレビを視聴したり、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。**
安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

指示 **イヤホンを使用するときは音量にご注意ください。**
周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

⚠警告

禁止 **赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。**
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。

禁止 **赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。**
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。

禁止 **ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。**
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止 **自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。**
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止 **点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。**
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止 **本機内のUSIMカードやSDカード(市販品)挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
また、USIMカードやSDカード(市販品)の挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。**
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切るか、機内モードに設定してください。**
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示 **病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **ハンズフリーに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本機を耳から離してください。**
また、イヤホンマイクなどを本機に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示 **心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。**
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。**
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示 **ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、露出した本機の内部にご注意ください。**
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **本機は完全防水ではありません。**
下記1～4および「防水／防塵／耐衝撃性能について」(P.33)に記載されている内容を守らずにご使用になると、発火・発熱・傷害・感電・故障の原因となります。

1. 水中で使用(ボタン操作を含む)しないでください。
2. 常温の真水・水道水以外の液体に浸けないでください。
3. 規定(IPX5・IPX8)(P.33)を超える強い水流を当てたり、水中に長時間沈めたりしないでください。
4. 砂浜などの上に置かないでください。

禁止 **本機が破損し、または本体内部が露出した場合、破損部および露出部に手を触れないでください。**
感電したり、けがをすることがあります。そのまま使用せずソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。

禁止 **暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。**
強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、ごくまれに、筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。

指示 **通常は電池カバー／外部接続端子キャップをはめた状態で使用してください。**
電池カバー／外部接続端子キャップをはめずに使用していると、ほこり・水などが入り感電や電子回路のショートによる故障の原因となります。

⚠注意

禁止 **ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。**
本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止 **誤ってディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止 **電池カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。**
電池カバーが破損し、けがなどの原因となります。

指示 **自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示 **本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。**
各箇所の材質について⇒「使用材料」(P.56)

指示 **本機を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。**
けがなどの原因となります。

指示 **本機のスピーカーに磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。**
付着物により、けがなどの原因となります。

指示 **ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。**
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

分解禁止 **改造された本機は絶対に使用しないでください。**
改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊣」が本機の技術基準適合証明(P.53)の手順で確認可能です。
本機のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

指示 **本機は、周囲温度5℃～35℃(ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。)、湿度35%～90%の範囲で使用してください。**
範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所での使用による故障と判明した場合は保証による修理はできません。

指示 **ディスプレイ部の保護シートははがしてからご使用ください。**
貼ったまま使用するとけがの原因となります。また、はがすときも指などを切らないようご注意ください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックを本機に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。また、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
電池パック内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

電池パックの(+)と(−)をショートさせないでください。
破裂・発火・発熱の原因となります。

電池パックを本機に接続するときは、(+)(−)を逆にしないでください。
破裂・発火・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず接続部を十分にご確認ください。

濡れた手での使用は絶対にしないでください。
発熱・感電・火災・故障などの原因となります。

⚠警告

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

ペットなどが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックは防水性能を有しておりません。
電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからソフトバンクショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

電池パックに巻き付けてあるシールをはがさないでください。
故障の原因となります。

電池パックの取り付け／取り外しの際に無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。
電池パックまたは電池カバーが破損するなどし、けがの原因となります。

ACアダプタ(オプション品)、卓上ホルダー(オプション品)の取り扱いについて

⚠警告

禁止 **ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **ACアダプタや卓上ホルダーは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。**
感電などの原因となります。

禁止 **コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **ACアダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。**
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止 **本機・卓上ホルダーにACアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手でACアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダーに触れないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **指定の電源、電圧で使用してください。**
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
海外で使用可能なACアダプタ:AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指示 **電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプタを持って抜いてください。**
ACアダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **本機にACアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。**
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。**
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

電源プラグを抜く **使用しない場合は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。**
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

水濡れ禁止 **ACアダプタ・卓上ホルダーは防水性能を有しておりません。**
水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・発火・火災・感電・ショートの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合にはただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止 **本機・卓上ホルダーにACアダプタを抜き差しするときは、導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製ネックレス、ヘアピンなど)を接触させないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電や故障の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。
感電や故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発火・火災・発熱の原因となります。

ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたまま使用したりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。
発火・火災・感電・ショートの原因となります。

ACアダプタを本機・卓上ホルダーに接続するときは、必ずプラグ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取り外すときも必ずプラグ部分を持って抜いてください。
ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。

⚠注意

コンセントにつないだ状態でACアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

USIMカードの取り扱いについて

⚠注意

USIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

USIMカードを折ったり、曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
故障の原因となります。

USIMカードのIC(金属)部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失や故障の原因となります。

USIMカードのIC(金属)部分を傷つけないでください。
故障の原因となります。

USIMカードを濡らさないでください。
故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

お願いとご注意

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

ご利用にあたって

●本機に登録された電話帳／メール／音楽／静止画／動画などの内容は、事故や故障／修理、その他取り扱いによっては変化、消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一変化、消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
●一般電話／テレビ／ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
●通話中、インターネット利用中、メールなどの利用中や充電中など、ご使用状況によっては本機、USIMカードが温かくなることがありますが異常ではありません。
●初めてご使用になるときや、長時間使用しなかったときは、ご使用前に充電してください（充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません）。
●電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
●本体（電池パックを取り外した面）に貼ってある製造番号の印刷されたシールはお客様のソフトバンク携帯電話が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
●本機に保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料／無料は問わない）などは、機種変更／故障修理などによるソフトバンク携帯電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
●公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
●偏光サングラスなどをかけた状態でディスプレイを見ると、角度によっては暗く見えたり、歪んで見えたりすることがありますのでご注意ください。
●受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
●データを再生中に無理なボタン操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。
●周囲の明るさは明るさセンサーで感知しています。指などで覆わないようにご注意ください。

●静止画撮影で静止画撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影、ブラウザなどを繰り返し長時間連続作動させた場合、本機の一部が温かくなり、長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますので、ご注意ください。
●操作方法や使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり熱くなることがあります。その際には安全のため、充電等一部機能が停止する場合があります。また、内部温度が高い状態のまま使用し続けると、電源が切れますのでご注意ください。
●外部接続端子接続中に温度エラーなどのメッセージが表示された場合は、ただちにケーブルを抜いてください。
●長時間お使いになった後、取り外したSDカード（市販品）が温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
●静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所でのSDカード（市販品）の使用や保管は避けてください。
●SDカード（市販品）に保存したデータは、パソコンや他のメディア（FD・MO・CD-R/Wなど）にバックアップしてください。SDカード（市販品）の破損などにより、保存したデータが消失したことによる損害について、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●本機で画面ロック解除用のロックNo.／パスワードを設定した場合は、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、最寄りのソフトバンクショップにて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録／設定した内容が消失しますのでご了承ください。

お取り扱いについて

●無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

●極端な高温・低温・多湿はお避けください(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください)。
- ACアダプタ(オプション品)
- 卓上ホルダー(オプション品)

●極端な高温・低温・多湿はお避けください。周囲温度5℃～35℃(ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。)、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。
- HMWH® ケータイ本体
- 電池パック

●端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて端子部を変形、傷つけないようにご注意ください。

●汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質する恐れがありますので、使用しないでください。

●電池パックの取り外しは、電源を切り、画面が消えたことを確認してから行ってください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失する恐れがあります。

●電池パックのシールを剥がさないでください。

●夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。

●長期間使用しない場合には、本体から電池パックを取り外し、電池パックケースに入れて高温多湿を避けて保管してください(電池パックケースは予備電池パック(オプション品)に付属しています)。ただし、長期間充電をしない場合、本機内のデータが消失することがありますのでご注意ください。

●電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合や膨らみが発生している場合は寿命ですので、指定の新しい電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態により異なります。

●電池パックを普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。ソフトバンクショップなどでご使用済み電池パックの回収を行っております。

Li-ion00

●本機で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

●強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。

●ディスプレイやカメラを硬いものでこすったりして傷つけないようご注意ください。

●ポケットおよびカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。

●寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本機内に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。

●エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。

●強力な磁石を近づけると故障の原因となる場合がありますので、ご注意ください。

●落下などにより本機の塗装表面に傷を付けないようにご注意ください。水等の付着が続くと塗装表面が剥がれる場合があります。

●本機のディスプレイは、屋外や蛍光灯の下などの明るい場所では見えにくい場合がありますが、故障ではありません。

●ご使用にならないときは、ACアダプタ(オプション品)の電源プラグをコンセントから外してください。

●ACアダプタ(オプション品)のケーブルをプラグに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。

●USIMカードは、ソフトバンクからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までお問い合わせください。また、解約などで不要になったUSIMカードはソフトバンクショップまでお持ちください。

●USIMカードの取り外し、および取り付け時には、必要以上に力を入れないようにしてください。

●他のICカードリーダー／ライターなどに、USIMカードを取り付けて故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。

●USIMカードのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

●USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。

●USIMカードを分解・改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

●SDカード(市販品)は正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとSDカード(市販品)を利用することができません。

カメラ機能について

●カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
●本機を暖かい場所に長時間置いていて画像を撮影したり、保存したりしたときは画像が劣化することがあります。
●カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
●蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
●カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な連続音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で異常ではありません。
●静止画撮影で静止画撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体の一部分が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
●ご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
●お客様が本機のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
●大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声が録音されているかご確認ください。
●故障・修理・その他の取り扱いにより、撮影した画像データ（以下「データ」といいます）が変化または消失することがあります。この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失により生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
●カメラ機能を使用して、撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはやめてください。

音楽／動画／テレビ機能について

●自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
●電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

緊急速報メールについて

●お買い上げ時、受信設定は「利用する」に設定されています。
●受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
●通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
●お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
●受信設定を「利用する」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
●当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

Bluetooth®機能について

■ 周波数帯について

本機のBluetooth®機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1/XX1

本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth®についてのお願い

- 本機のBluetooth®機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Bluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

Bluetooth®ご使用上の注意

本機のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までお問い合わせください。

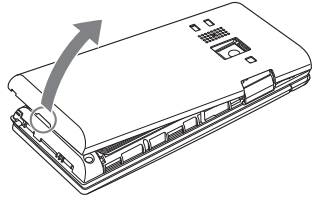
- 本機はすべてのBluetooth®対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電池パックの取り付け／取り外し

必ず電源を切った状態で行ってください。

1 電池カバーのくぼみに指先をかけて、矢印の方向へゆっくりと持ち上げるようにして取り外す

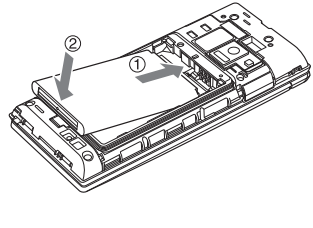
- 指や爪などを傷つけないようにご注意ください。



2 電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックを取り付ける場合

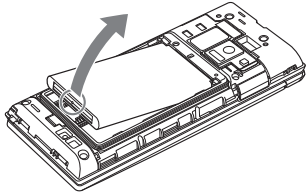
電池パックと本機の金属端子が合うように①の方向に差し込んでから、②の方向にはめ込みます。



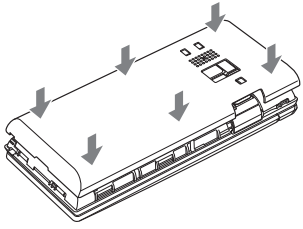
■ **電池パックを取り外す場合**

電池パックの下側を矢印の方向へゆっくりと持ち上げます。

・指や爪などを傷つけないようにご注意ください。

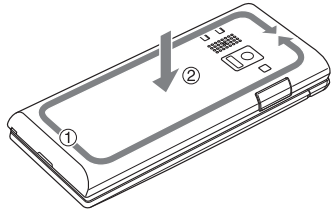


3 電池カバーと本体を合わせるように置き、電池カバーを矢印の方向へ押す



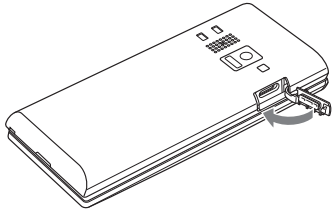
4 電池カバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかり押さえ、完全に装着させる

・浸水の原因となるため、電池カバーが浮いていることのないように、確実に閉じてください。

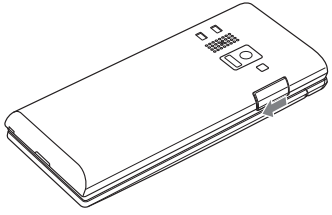


外部接続端子キャップの閉じかた

1 外部接続端子キャップのヒンジを収納し押しこむ



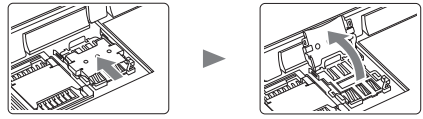
2 矢印の方向になぞり、外部接続端子キャップが浮いていることのないよう確実に閉じる

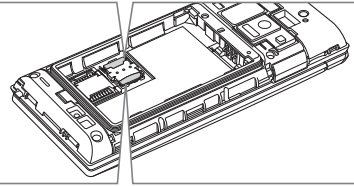


USIMカード／SDカード(市販品)の取り付け

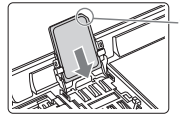
USIMカードの場合

USIMカードスロットカバーを指の腹で押しながら、カチッと音がするまで動かしてロックを解除し、持ち上げてください。

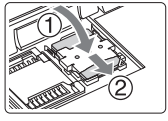




切り欠きの位置に注意し、USIMカードを図のようにUSIMカードスロットカバーに取り付けます。

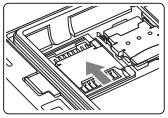


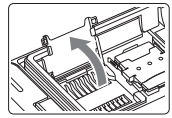
①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまで動かしてロックしてください。

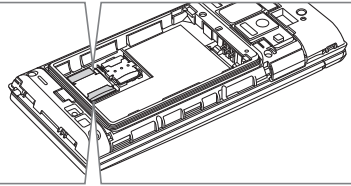


■ **SDカードの場合**

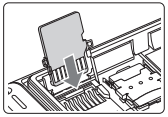
SDカードスロットカバーを指の腹で押しながら、カチッと音がするまで動かしてロックを解除し、持ち上げてください。



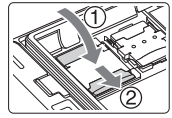




差し込む向きに注意して、SDカードを図のようにSDカードスロットカバーに取り付けます。

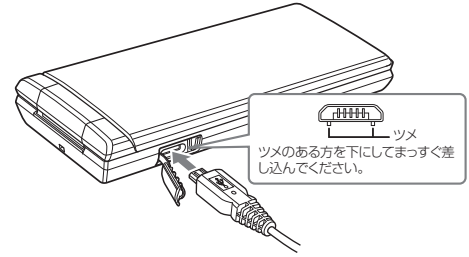


①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまで動かしてロックしてください。



microUSBプラグ接続時の注意

microUSBプラグを接続するときは、プラグ先端の変形、破損に注意し、正しい向きで本体にまっすぐ差し込んでください。
プラグの向きを間違えると、プラグを破損する可能性があります。



防水／防塵／耐衝撃性能について

本機は電池カバーおよび外部接続端子キャップが完全に装着された状態でIPX5相当、IPX8相当の防水性能およびIP5X相当の防塵性能を有しております。また、MIL規格準拠の耐衝撃性能を実現しております（当社試験方法による）。
具体的には、雨（1時間あたりの雨量が20mm未満）の中で傘をささずにお使いいただけます。バスルームやキッチン、プールサイドなど水がある場所でもお使いいただけます。
※詳しくは、「利用シーン別注意事項」(P.35)をご参照ください。
ただし、この「防水／防塵／耐衝撃性能について」に記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障などの恐れがあります。安全にお使いいただくために、この「防水／防塵／耐衝撃性能について」の内容をよくお読みになってからご使用ください。

●IPX5相当
内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

●IPX8相当
常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に電話機本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず、電話機としての機能を保つことを意味します。

●IP5X相当
防塵試験用粉塵（直径75μm以下）が入ったとしても所定の動作および安全性を損なわないように保護されていることを意味します。

●MIL規格準拠
アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G Method516.7：Shock-Procedure Ⅳに準拠した落下試験（高さ1.22mから合板（ラワン材）に本製品を26方向で落下させる）を実施していますが、すべての衝撃に対して保証するものではございません。
※日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

ご使用にあたっての重要事項

●浸水の原因となるため、外部接続端子キャップをしっかりと閉じて、電池カバーを確実に取り付けてください。
キャップ類が浮いていることのないように、完全に閉じていることを確認してください。
●接触面に微細なゴミ（髪の毛一本、砂粒一個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
●手や本機が濡れている状態での外部接続端子キャップの開閉や電池カバーの取り付け／取り外しは絶対にしないでください。
●砂浜などの上に置かないでください。送話口・受話口・スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなる場合があります。
●水中で使用（ボタン操作を含む）しないでください。
●常温の真水・水道水以外の液体（石けん・洗剤・入浴剤、温泉、熱湯、砂・泥、海水、プールの水、アルコールなど）をかけたり、浸けないでください。

注意事項について

■ 利用シーン別注意事項

＜雨の中＞

●強い雨（1時間あたりの雨量が20mm以上）の中で使用しないでください。
●雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での電池カバー／外部接続端子キャップの開閉は絶対にしないでください。故障などの恐れがあります。

＜バスルーム＞

●浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
●石けん、洗剤、入浴剤の入った水、温泉水には浸けないでください。
●温水シャワーを直接当てないでください。
●高温のお湯をかけないでください。
●バスルームへの長時間の持ち込みはお避けください。
●周囲温度5℃～35℃（ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。）、湿度35%～90%の範囲で使用してください。

＜キッチン＞

●石けん、洗剤、調味料、ジュースなど真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
●高温のお湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。
●コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になるところに置かないでください。
●強い流水（6リットル／分を超える）をかけないでください。

＜プールサイド＞

●プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
●プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水®で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。
※ やや弱めの流水（6リットル／分以下）

■ 共通注意事項

●外部接続端子キャップはゴムパッキンが正しい位置にあることを確認してから確実に閉じてください。また電池カバーもしっかりと取り付けてください。微細なゴミ（繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など）がわずかでも挟まると、浸水の原因となります。
●外部接続端子キャップの隙間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となります。
●手袋などをしたまま、外部接続端子キャップの開閉をしたり、電池カバーの取り外し／取り付けをしたりしないでください。手袋などに付着している微細なゴミ（繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など）がわずかでも挟まると、浸水の原因となります。
●電池カバーの取り付け／取り外しや外部接続端子キャップの開閉をするときは、本機や手に水滴・砂・汚れなどが付着していないことを確認してください。付着している水滴・砂・汚れなどが本体内部に入り込んだり、電池カバー／外部接続端子キャップに挟まるなどして、故障や浸水の原因となります。わずかでも付着している場合は、本機や手の水滴・砂・汚れなどを繊維くずの出ない乾いた清潔な布で拭き取ってから、作業を行ってください。
●本機に水滴が付着したまま放置しないでください。隙間から水分が入り込んでいる場合があります。また、濡れたままですと、音が小さくなる場合があります。水で濡れた場合は、本機を振る（P.38）などして水を取り除き、本機から出た水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。寒冷地では、本機に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。
●本機の防水性能は真水・水道水にのみ対応しており、温水や塩水、洗剤、薬品、汗などには対応しておりません。真水・水道水以外の水分（海水・洗剤など）、または砂・泥などが付着した場合は、速やかに常温の水道水®で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用せず、電池カバー／外部接続端子キャップが開かないように押さえながら手で洗ってください。
※ やや弱めの流水（6リットル／分以下）
●耐水圧設計ではありませんので、規定（IPX5・IPX8）を超える強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を当てたり、水中に長時間沈めたりしないでください。
●洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
●水中で強い衝撃を与えないでください（例：水の張った洗面台、トイレ、洗濯機に落とさないでください）。
●本機以外のオプション品は、防水／防塵／耐衝撃性能を備えておりません。
●送話口・受話口・スピーカー・外部接続端子・気圧調節穴の穴を尖ったものでつつかないでください。

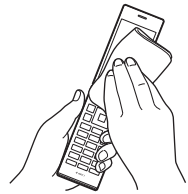
●外部接続端子キャップ裏側のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な部品です。以下のことにご注意ください。
- はがしたり、傷つけたりしないでください。
- ゴミなどが付着しないようにしてください。微細なゴミ（繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など）がわずかでも付着していると、浸水の原因となりますので、必ず取り除いてください。
- 真水・水道水以外の液体（温水や塩水、洗剤、薬品、汗など）が付着すると、防水性能を維持できなくなる場合があります。
- 外部接続端子キャップを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないよう注意してください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷つき、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。
- 防水／防塵／耐衝撃性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをお勧めします。お客様ご依頼による部品交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。お近くのソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までお問い合わせください。

●落下させるなど本機に強い衝撃を与えないでください。防水／防塵／耐衝撃性能が維持できなくなる場合があります。
●防水性能（IPX8）維持のため本機に気密性があり、本機を強く押した際に受話口周辺から音が出ることがありますが、機能及び性能には異常はありません。
●本機は水に浮きません。
●熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。本機は耐熱設計ではありません。
●周囲温度5℃～35℃（ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。）、湿度35%～90%の範囲で使用してください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所で使用すると、防水／防塵／耐衝撃性能が維持できない場合があります。
●急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本機を持ち込むときは本機が常温になってから持ち込んでください。本機は結露に対して特別な対策を実施しておりません。
※ディスプレイの内側に結露が発生した場合は、結露がとれるまで常温で放置してください。
●想定される使われ方に即した試験を行い、性能を満足することを確認していますが、実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となり有償修理となります。

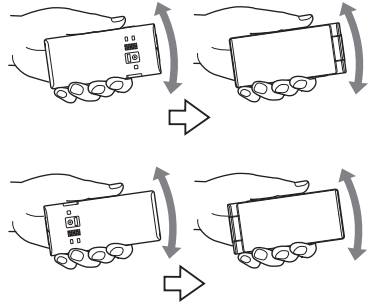
水に濡れたときは

本機に水滴が付着したまま使用すると、送話口・受話口・スピーカー・気圧調節穴・ヒンジ部に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。また、隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、下記の手順で本機の水分を取り除いてください。

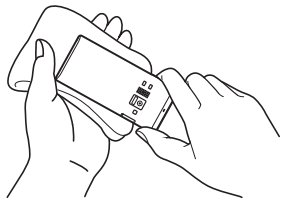
1 本機表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取る



2 本機をしっかり持ち、水が出なくなるまで矢印の方向に振る
- 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
- 本機を落とさないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本機を軽く押し当て、送話口・受話口・スピーカー・気圧調節穴・ヒンジ部などの隙間に入った水分を拭き取る



4 本機から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させる

上記手順を行ったあとでも、本機に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまう恐れがありますのでご注意ください。

■充電のときは

オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- ●本機が濡れていないかご確認ください。濡れている場合はよく水抜きをして繊維くずの出ない乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- ●水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして繊維くずの出ない乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- ●本機が濡れている状態では絶対に充電しないでください。水が付着したままで充電を行った場合、故障・発熱などの恐れがあります。
- ●濡れた手でACアダプタ(オプション品)、卓上ホルダー(オプション品)に触れないでください。感電の原因となります。
- ●ACアダプタ(オプション品)、卓上ホルダー(オプション品)は、水のかからない状態で使用してください。火災や感電の原因となります。
- ●ACアダプタ(オプション品)、卓上ホルダー(オプション品)は、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

知的財産権について

著作権／肖像権について

- ●お客様が本機で撮影／録画／録音したものを複製、改変、編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などをすると肖像権などの侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。
- ●撮影したものをインターネットウェブページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影／録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- ●著作権にかかわる画像やサウンドの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

Microsoft®、Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe PDF および Adobe PDF ロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。
iWnn IME(c)OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2016 All Rights Reserved.

「すぐ文字」は京セラ株式会社の登録商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。

Internet SagiWallは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

「LINE」は、LINE株式会社の商標または登録商標です。

「あんしんバックアップ」は、株式会社ACCESSの技術提供を受けております。
©2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
Copyright © 2009 The Android Open Source Project Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.
ACCESS、ACCESSロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

ハローページはNTTの登録商標です。

S!メール、とく放題、スマートセキュリティ powered by McAfee®はソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの商標です。
画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。
HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

このマニュアルで説明されている携帯電話にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。

(a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出をおこなってはなりません。
(b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の不侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
なお、オープンソースソフトウェアについては、以下に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)またはその他のオープンソースソフトウェアライセンス及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけます。詳細については当社ホームページをご覧ください。
本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェア及び京セラが許諾を受けたソフトウェアが含まれています。
本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社又は第三者が有しており、著作権法上認められた使用法及び当社が別途認めた使用法を除き、お客様は当社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

本製品の比吸収率(SAR)について

本項目における【HMWH】とは、本機【HMWH® ケータイ】を示しています。

この機種【HMWH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。
電波の人体吸収に関する国の技術基準※1は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。
本携帯電話機【HMWH】の頭部におけるSARの最大値は0.261W/kg※2であり、また下記の方法※3により身体に装着した場合のSARの最大値は0.465W/kg※2です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

頭部以外の位置におけるご使用方法※3

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。
※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みません。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

電波ばく露の影響に関する情報として、欧州における基準および米国連邦通信委員会(FCC)の基準を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」、「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本携帯電話機【HMWH】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.364W/kg、本書に記述する所定の方法(P. 45 ※3)で使用した場合のSARの最大値は0.532W/kgです。

「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.226W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は0.775W/kgです。
身体装着の場合:この携帯電話機【HMWH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)
http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関(英文のみ)
http://www.who.int/emf
SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率(SAR) 一覧はこちら
http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/

General Notes

【HMWH】 here refers to this mobile phone【 **HMWH** ケータイ 】.

Electromagnetic Safety

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 1177

KYOCERA Corporation hereby declares that HMWH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone【HMWH】meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is 0.261 W/kg*** when tested for used at the ear, and 0.465 W/kg*** when worn on the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear**

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in the Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.
** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection
*** The value is not under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm

Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (Japanese)

Safety Information

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

This mobile phone HMWHs confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.364 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide (See Page 49 ****). In this case, the highest tested SAR value is 0.532 W/kg*.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.226 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.775 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID JOYHMWH.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization
http://www.who.int/emf
List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model
http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/ (Japanese)

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

技術基準適合証明について

技術基準適合証明を表示できます。

1 ■ ▶「設定」

2「端末情報」▶「技術基準適合証明」

暗証番号について

本機のご利用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

操作用暗証番号	各機能を利用するときに使用する暗証番号です。お買い上げ時は設定されていません。
ロックNo.／パスワード	画面ロックの解除を行うときに使用する暗証番号です。お買い上げ時は設定されていません。
交換機用暗証番号	ご契約時の4桁の番号です。契約内容の変更、オプションサービスを一般電話から操作するときに使用します。

- 暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。
- 暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたとき、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

PINコード設定

PINコードとはUSIMカードの暗証番号です。
第三者による本機の無断使用を防ぐため使用します。お買い上げ時には「9999」に設定されています。

- PINコードの入力を3回間違えると、PINロック状態になります。その際は、PINロック解除コード(PUKコード)が必要となります。PUKコードについては、お問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。PUKコードを10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。その際には、ソフトバンクショップにてUSIMカードの再発行(有償)が必要になります。

PINコードを有効にする

PINコードを有効にすることで、USIMカードを本機に取り付けた状態で電源を入れたとき、PINコードを入力する画面を表示するように設定することができます。

1 ■ ▶「設定」

2「ロック・セキュリティ」▶「セキュリティ」▶「PIN認証」

3「SIMカードをロック」

4 PINコードを入力 ▶ ◉(確定)

PINコードを変更する

PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ行えます。

1 ■ ▶「設定」

2「ロック・セキュリティ」▶「セキュリティ」▶「PIN認証」

3「PINコードの変更」

4 現在のPINコードを入力 ▶ ◉(確定)

5 新しいPINコードを入力 ▶ ◉(確定) ▶ 新しいPINコードを再度入力 ▶ ◉(確定)

ソフトウェア更新

ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには手動で更新ができます。お買い上げ時は「自動ダウンロード」に設定されています。

- 本機の状況(故障・破損・水濡れなど)によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 更新が完了するまで、本機は使用できません。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
- 電波状況のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなったりすると、更新に失敗することがあります。更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります。

手動でソフトウェアを更新する

1 ■ ▶「設定」

2「端末情報」▶「ソフトウェア更新」

3「ソフトウェア更新」

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

■ ソフトウェア更新が完了すると

ソフトウェア更新完了の画面が表示されたあと、自動的に再起動します。

- ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電池パックを取り外し、再度取り付けてから電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、お問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。

使用材料

本体

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース(LCDケース)	PA+GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(KEYケース)	PC+GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(ヒンジカバー)、電池カバー	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(LCDリアプレート)	PMMA樹脂／インモールド処理
赤外線ポート窓部、ウィンドウパネル部(メイン)、カメラプレート	PMMA樹脂／化学硬化処理
上下左右ボタン、センターボタン、メールボタン、ブラウザボタン、テレビボタン、カメラボタン、開始ボタン、クリア／バックボタン、電源／終了ボタン、ダイヤルボタン、*ボタン、#ボタン、通知ボタン、アプリボタン、履歴ボタン	PMMA樹脂
キーシート	PET樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
クッション(10KEY下部)	UV硬化性樹脂
サイドボタン	PC樹脂
外部接続端子キャップ	PC樹脂+TPE樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
充電端子	リン青銅／金メッキ処理(下地:ニッケル)

電池パック(KYBAH1)

使用箇所	材質／表面処理
外装	◆◆
シール	◆◆
端子	◆◆

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

・本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先(P.58)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

・アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

■総合案内

ソフトバンク携帯電話から　157(無料)
一般電話から　0800-919-0157(無料)

■紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から　113(無料)
一般電話から　0800-919-0113(無料)

IP電話などでフリーコールに繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380(有料)
東海地域	052-388-2002(有料)
関西地域	06-7669-0180(有料)
中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010(有料)

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
+81-92-687-0025
(有料、ソフトバンク携帯電話からは無料)